

## 1. 製品型番及び名称

本製品名称は、.312ヘッドランプコネクタ (コンパクトタイプ) と呼び、Fig. 1の製品群から成っております。このコネクタは自動車用のヘッドランプに使用でき、ヘッドランプのタブピッチがSAE, JASO, JIS のいずれかの規格に適合していれば、いずれもかん合出来るよう、設計されています。

ヘッドランプのタブ穴を利用しコンタクトが確実にロックする機構であり、一度ロックしたコネクタは、ハウジングをもって引かないかぎり、ロックは解除されません。

## [ハウジング]

名称	型番
.312 ヘッドランプコネクタ プラグハウジング	353752-2

Fig. 1a

## [コンタクト]

○印：適用、×印：適用外

名称	型番	適用電線				
		線種	0.5	0.85	1.25	2
.312シリーズ ポジティブロック リセクタクルフラッグタイプ(R)	900318-1	線種	0.5	0.85	1.25	2
		CAVUS	×	○	×	×
		CAVS/AVSS	○	○	×	×
		AVS	○	○	×	×
.312シリーズ ポジティブロック リセクタクルフラッグタイプ(R)	172796-1	線種	0.5	0.85	1.25	2
		CAVUS	×	×	○	×
		CAVS/AVSS	×	×	○	○
		AVS	×	×	○	○
.312シリーズ ポジティブロック リセクタクルフラッグタイプ(L)	900319-1	線種	0.5	0.85	1.25	2
		CAVUS	×	○	×	×
		CAVS/AVSS	○	○	×	×
		AVS	○	○	×	×
.312シリーズ ポジティブロック リセクタクルフラッグタイプ(L)	172795-1	線種	0.5	0.85	1.25	2
		CAVUS	×	×	○	×
		CAVS/AVSS	×	×	○	○
		AVS	×	×	○	○

Fig. 1b

## 2. 製品の構成

## 2.1 全体図

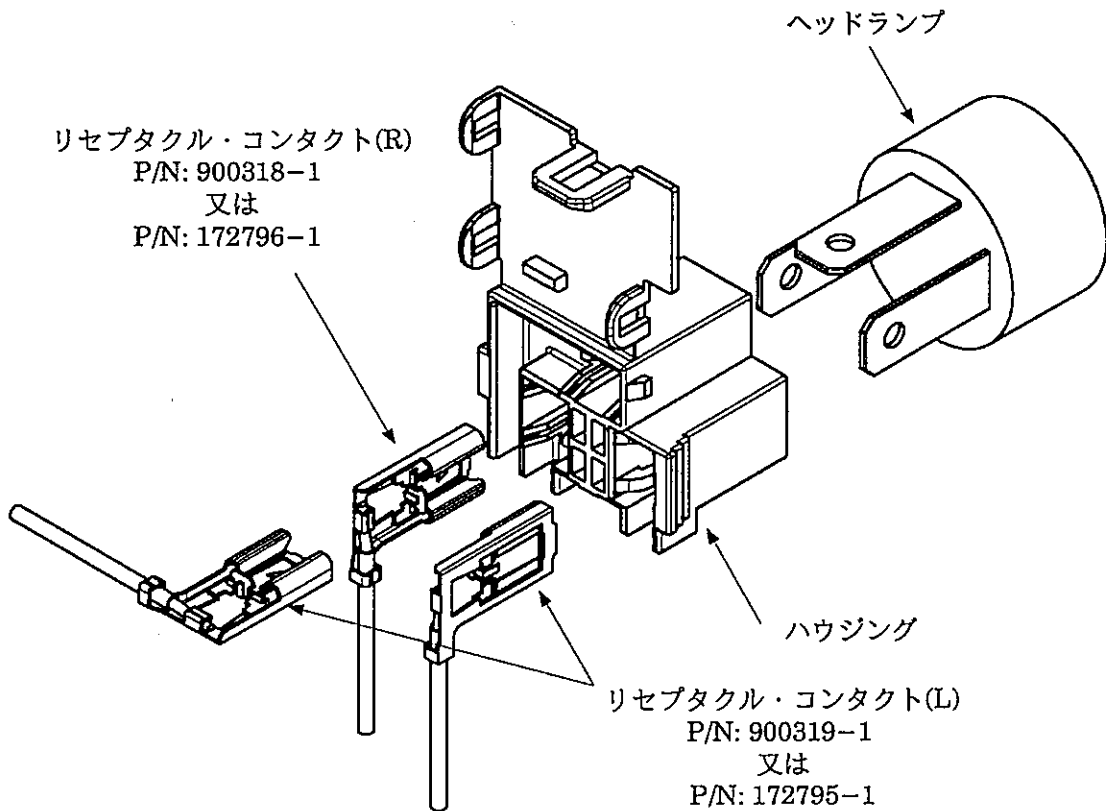


Fig. 2

## 2.2 ヘッドランプ、タブ取付寸法について

タブの取り付け寸法については、SAE: J571, JASO: 6608, JIS: D5504 の規定するものであれば、いずれも本コネクタとかん合できますが、コネクタの性能を十分発揮させるために添付図面 (アンブ シールドビーム コネクタ用タブ 型番C-79-25183) の寸法を推奨します。上記規格 (SAE, JASO, JIS) ではタブ穴のプレス打ち抜きダレ面に関しては指定がありません。そのため異常な大きいダレ面の場合、引抜きが容易に行なえない場合がありますので注意願います。

### 3. 端子の挿入作業

#### 3.1 端子挿入

端子の方向性を確認し、(Fig.3) 端子を指定の穴にカチッという音がするまで挿入し、それ以上挿入できないことを確認して下さい。この端子はフラッグタイプなので、電線をもって押すことはできません。コンタクト本体の圧着部を押して挿入して下さい。さらに、Fig.4a のように、全ての端子について、左右のランスがかかっていることを確認します。このとき、上部のL端子の電線はFig.4b のように、ガイドに沿って折り曲げて下さい。

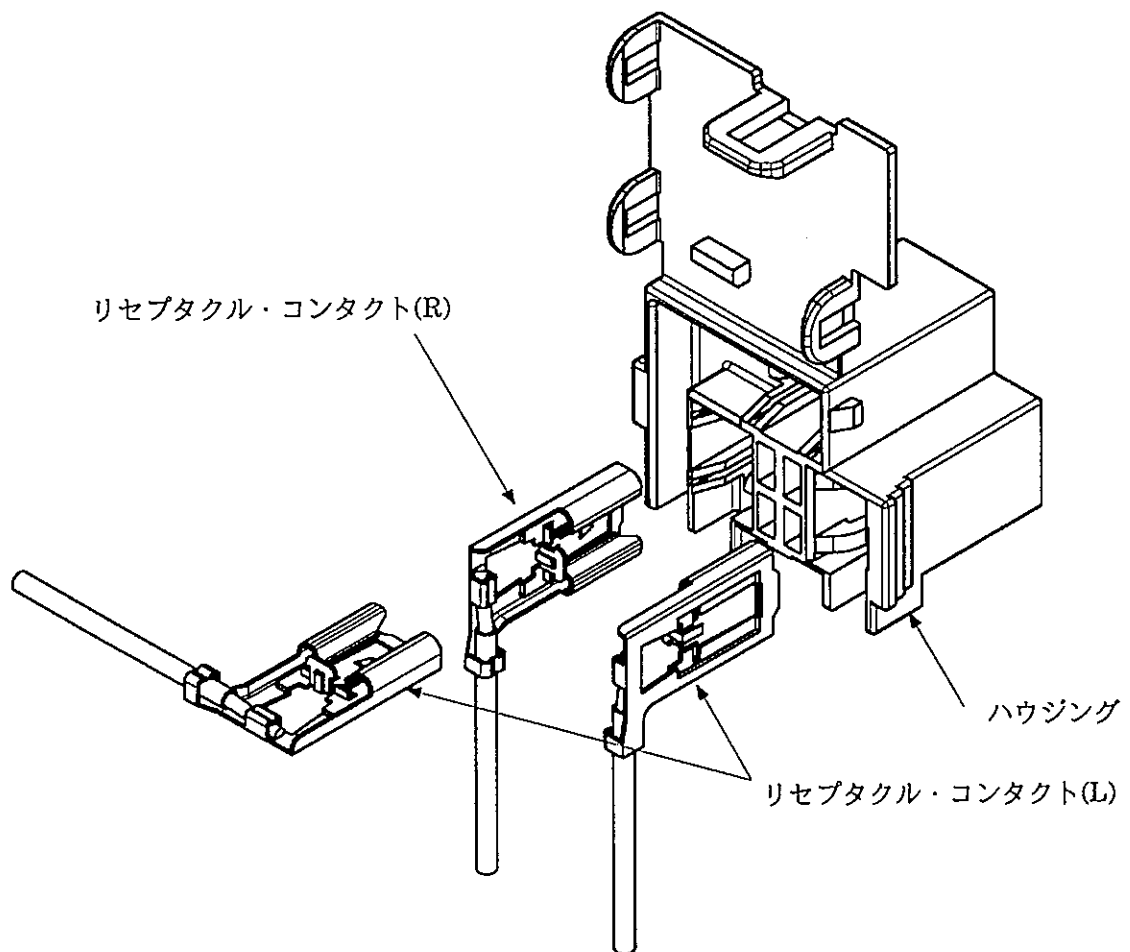


Fig. 3

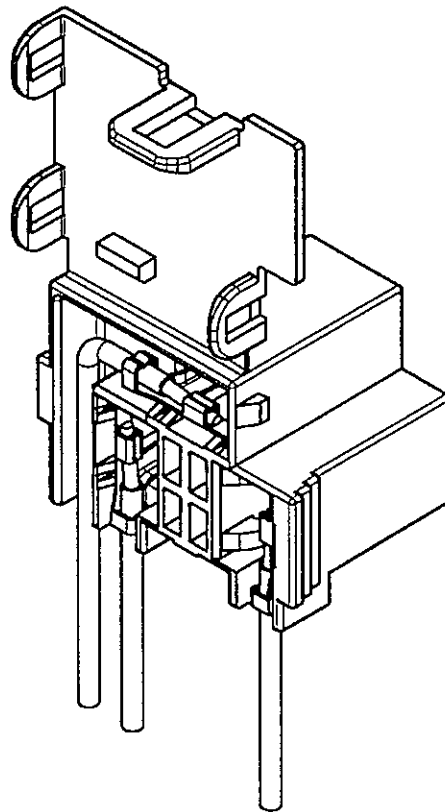
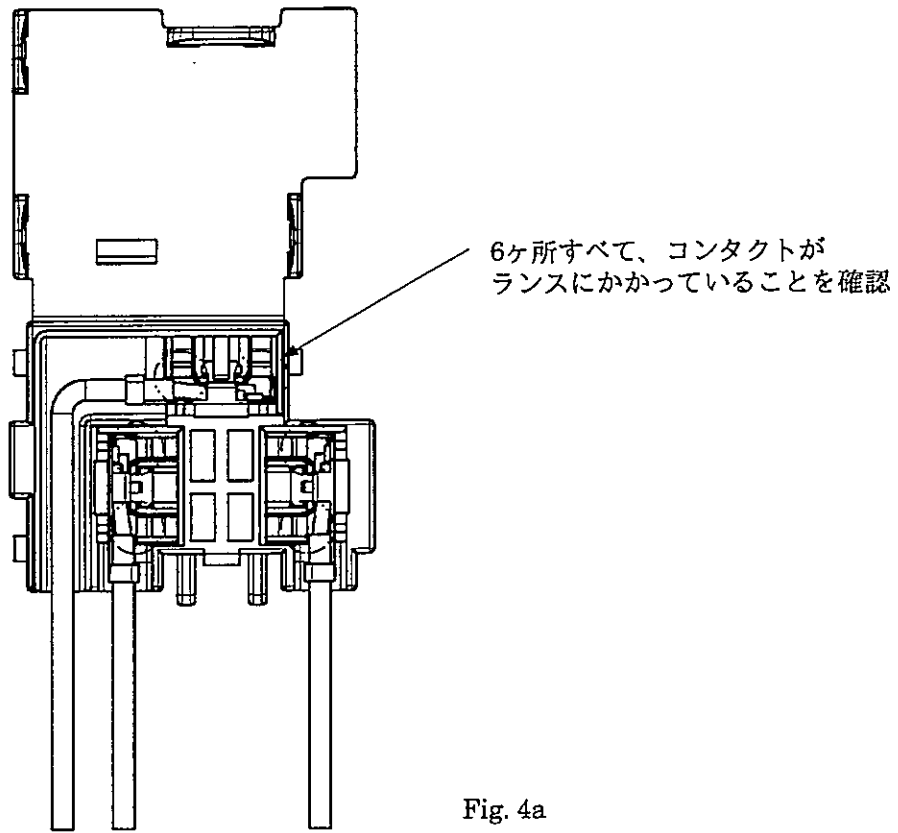


Fig. 4b

### 3.2 カバーの閉じ方

全ての端子を挿入した後、カバーをFig.5の如く回転して閉じて下さい。このときカバーに付いているロックの4ヶ所すべてがかかっていることを確認して下さい。万一、ロックがかかっていない箇所がありましたら、ロック部付近のカバーを押してロックをかけて下さい。

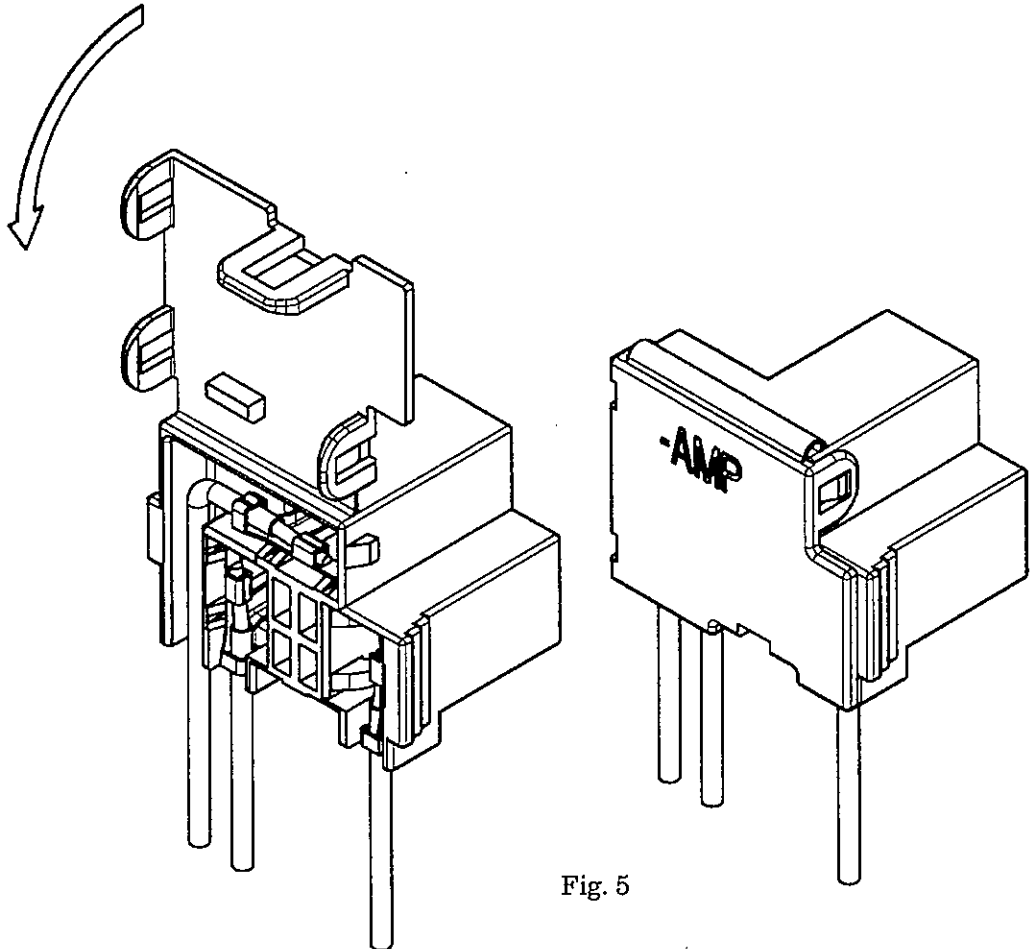


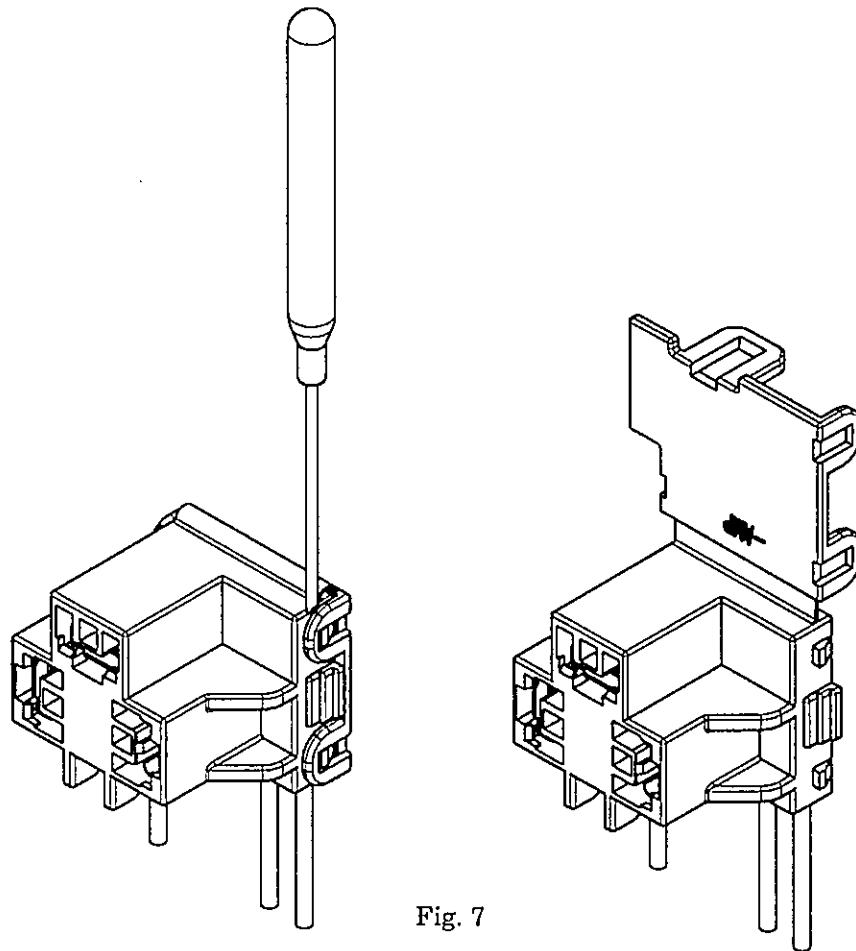
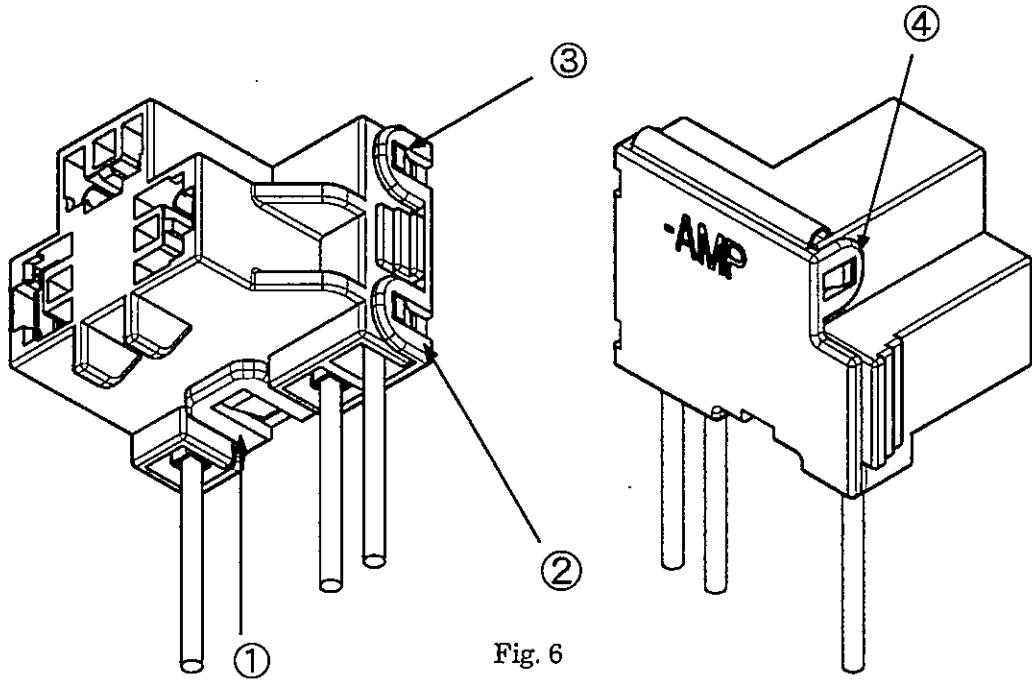
Fig. 5

## 4. 端子の抜き方

### 4.1 カバーの開き方

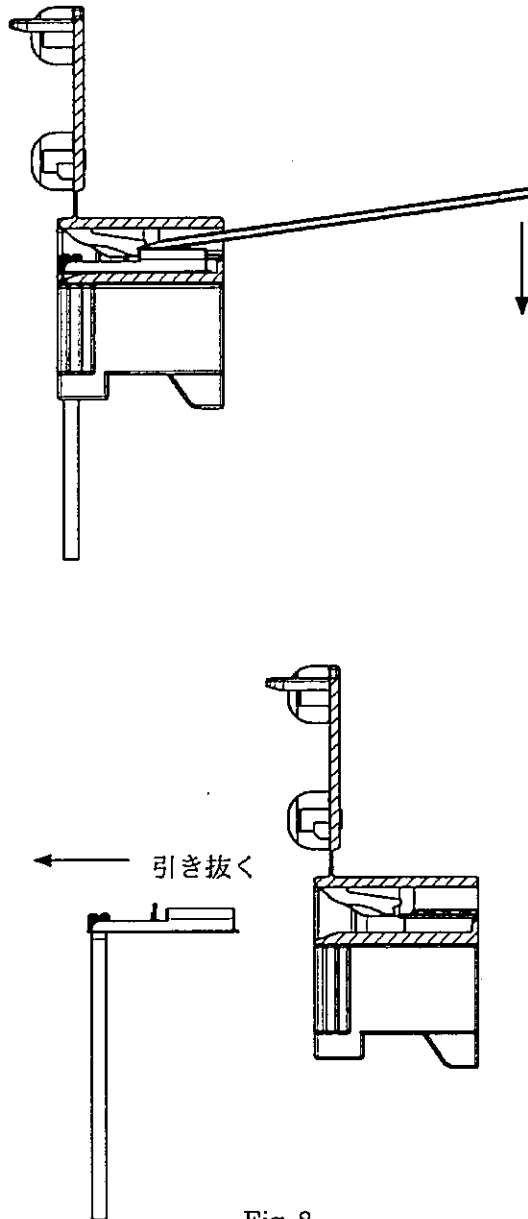
端子を引き抜くときには、カバーを開いてから、引き抜きます。

Fig. 6 に示す順にカバーのロック部に時計ドライバー等をFig. 7 の如く挿入して、全てのロック部を解除して下さい。万一、無理な力を加えてロック部が割れたりした場合は新しいハウジングと交換して下さい。



4.2 端子の引抜き

次にFig. 8 の如く、ランスを専用引抜き治具で押し上げながら、コンタクトを引っ張って、端子を引き抜きます。(参8. .312 ポンティブロック端子の引抜き治具リスト)  
このとき、電線を引っ張ると断線の恐れがありますので、必ずコンタクト本体を引っ張って下さい。



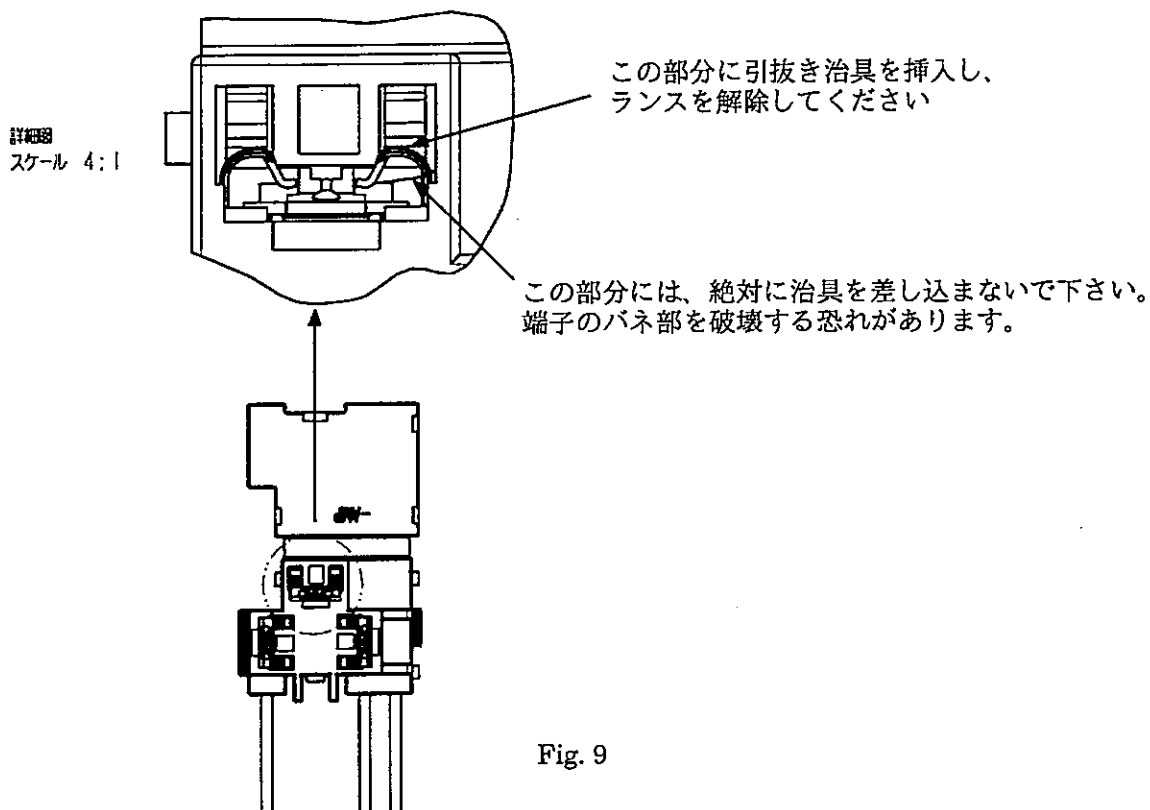


Fig. 9

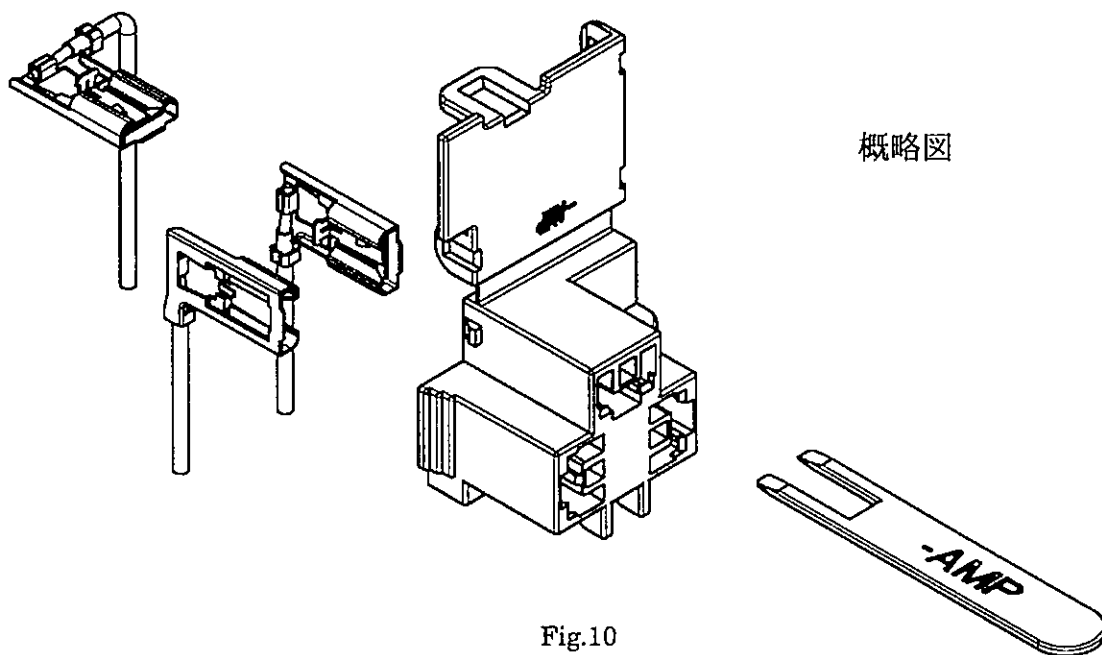


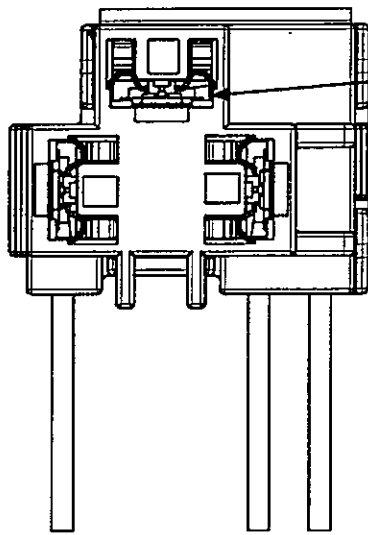
Fig.10

端子をランスから確実に解除してから端子を引き抜いて下さい。ムリに引き抜くとランスを破壊する恐れがあります。

誤って引抜き治具等を端子に挿入してしまった場合には、必ず端子を交換して下さい。



## 5. その他の注意事項

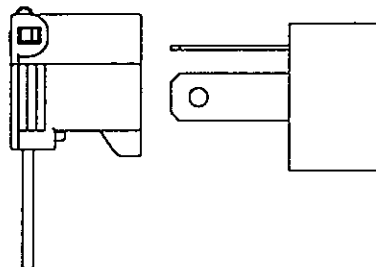


この四角間口の中には、メス端子が入っています。  
この中への異物の挿入は絶対にしないで下さい。  
もし、異物の混入が認められた場合には、必ずメス  
端子を交換してください。その際には4.1~4.2に  
従って作業を行なって下さい。

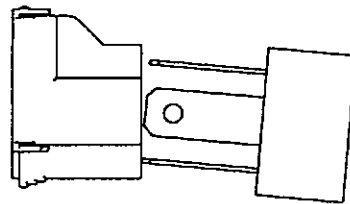
Fig.11

## 6. コネクタ挿抜時、下記項目について注意して下さい。

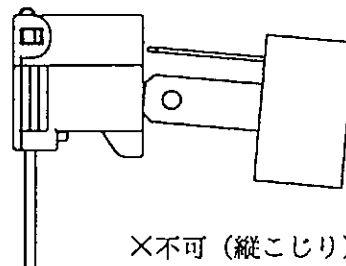
- 6.1 強引な挿抜をしないこと。(こじらないで、まっすぐに挿抜すること)  
又、かん合時はカチッと音がするまで、押し込んで下さい。



○適性 (上下左右共に)



×不可 (横こじり)



×不可 (縦こじり)

Fig. 12

6.2 かん合部には、指定コネクタ以外には挿入しないこと。(ドライバー・治具等)

6.3 コネクタ引抜きの際、Fig.13の如く左右からハウジングを持ち、はさみながらまっすぐコネクタを引き抜いてください。電線を引っ張っても抜けません。

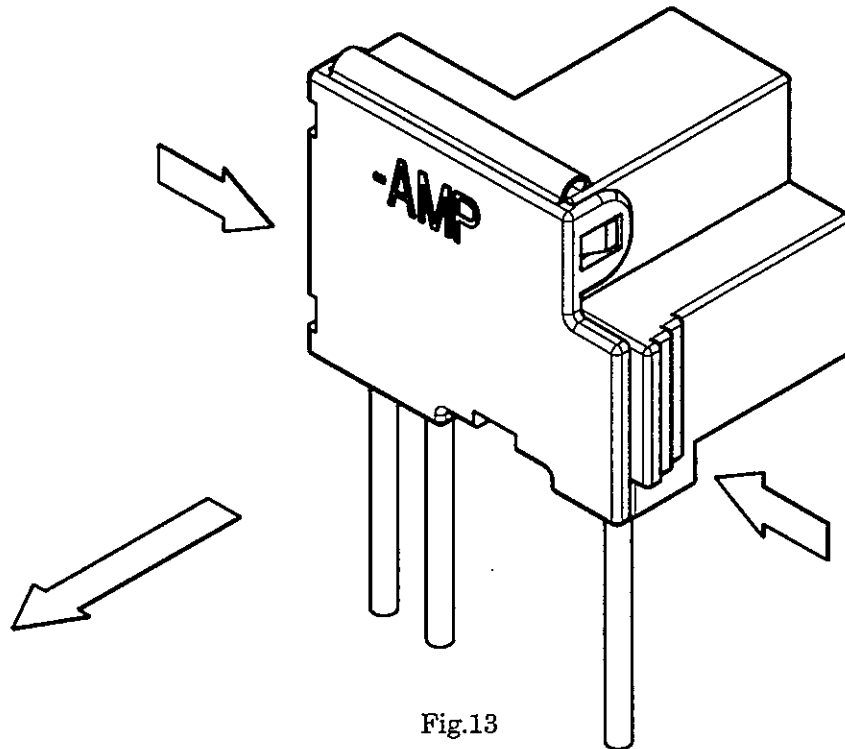


Fig.13

7. 取扱において、下記不具合が発生した場合、コネクタを使用せず新しいコネクタに取り替え使用してください。

7.1 端子変形

7.2 端子キズ付

7.3 端子変色

7.4 ハウジング破損及び変形

7.5 ハウジング変色

7.6 かん合部異物混入

8. .312 ポジティブロック端子の引抜き治具リスト

製品名	工具NO.	取扱説明書NO.
.312 ポジティブロック リセプタクル	724719-1	IS 119J

Fig.14